



女子美術大学群馬支部OG会広報

発行：女子美術大学同窓会群馬支部 支部長・勅使川原 正代

NO. 27 2017/9

支部長ごあいさつ

MASAYO TESHIGAHARA



群馬支部の100周年催事は

支部長 勅使川原 正代

今年は4月から同窓会100周年記念催事が各支部で始まっております。

群馬支部では、記念祝賀会を5月5日に記念展のオープニングに併せて開催いたしました。連休中にも関わらず同窓会本部から木下副会長様が、大学から校友会室の白柳室長様がお出席くださり、群馬県美術会会長、副会長、高崎市教育長、塚越応鐘氏、野村品司氏のお客様をお迎えして約40名の和やかな祝宴になりました。

記念ワークショップは、大判タペストリー2種とローラアートを準備いたしました。ワークショップの為に第2展示室も借りて、中央のガラス壁の内側にワーク

ショップコーナーを2つ並べて作り、外の歩道へ向けてアピールするようにセッティングしました。第2展示室の吹き抜けの壁面は工芸を中心に効果的に作品展示が映えました。

また、記念展は、恒例のクローズアップ会員を若い会員も加えて6名に増やし、大学のご協力で在校生8人の作品が加わり、充実した展示になりました。

今後の支部の記念催事は、記念仕様の広報誌発刊と、11月の美術鑑賞と講演会参加と、老人施設でのワークショップ慰問を計画しております。

記憶に残る100周年の思い出ができるでしょうか？

100周年本祝賀会

MASAKO SHIMIZU

同窓会設立100周年記念 本部主宰行事

相談役兼事務局 清水 正子

1900年女子美術学校が開学し、1917年6月25日に同窓会が設立され、100周年を迎えました。

本部主催の記念祝賀会は、6月24日(土)18時から都庁隣のハイアットリージェンシー東京のセンチュールームに大村智名理事長、福下理事長、横山学長、101歳の洋画家入江一子先輩、歴代の会長はじめ全国から700名の会員が赤い服やアクセサリ、仮面を着けて参加し、賑やかで楽しくパワーのある会でした。

若手支援プロジェクト-まなざしの先には、東京駅前丸ビル3階の回廊で6月24日～30日でグランプリ以下24点が紹介されました。

-青のかけ橋-佐野ぬい賞受賞作家展が、相模原のアートミュージアム4/17～5/22、杉並のガレリアニク6/2～28にて佐野先生と5名の作家の作品展とトークが開かれました。また、ハンカチ他、100周年記念グッズも、作られました。



▲群馬支部での100周年記念祝賀会に、出席の方々



▲学長さんを含んで、本部主催祝賀会に出席の群馬支部の方々

▲杯杯授けられる、同窓会永久名誉会長の佐野・大村両先生

2017/9